

# 「中国・アジア」ダイジェスト

2014.03.03-03.14

\*記事は東京発行・最終版

ミャンマー・ヤンゴンで開かれた日韓連携セミナー



3月4日(火)

日産、デザイン拠点分離  
中英米で新体制 / 2ブランド差別化  
日産自動車は、高級ブランド「インフィニティ」と日産ブランドのデザインスタジオを分離する。日英中米の4カ国にデザイン拠点を持つ。別のスペースを確保。内外装を差別化。(6面)

L G化学、中国バッテリー工場  
EV用 / 環境対策でニーズ

韓国・L G化学は、中国でEV用バッテリー工場の建設を検討。中国政府が大気汚染対策に取り組む中、需要が見込めると判断。GMやアルミニウムでEV用バッテリーを供給している。(時事=6面)

中国でヘルスケア製品  
ジーンテクノ / 現地企業と提携

ジーンテクノサイエンスは、中国でヘルスケア製品事業に乗り出す。商品開発や販売で地元の生薬原料製造販売大手、グローバル・ファーム・ホールディングス・グループと提携に合意。(12面)

荒川化学、中国で粘接着付与剤  
生産2000t / 水系樹脂を開拓  
荒川化学工業は、中国で有機溶剤のト

ルエンやホルムアルデヒドを含まない粘接着付与剤の生産を始める。専用設備を導入する。生産能力は年1000~2000t。水系樹脂市場を開拓する。(13面)

3月5日(水)

弘輝、蘇州に新工場  
ハンダ材料 / 1.5倍

弘輝は、金属接合材料の中国工場を4月に移転・拡張する。蘇州に新工場。ハンダ材料の有鉛・無鉛ソルダーベースの生産能力を既存工場の1.5倍に。日欧米の進出電子機器メーカー向け。(7面)

追加型ビル用マルチエアコン  
富士通ゼネラル / 中国向け

富士通ゼネラルは、中国向け追加型ビル用マルチエアコン「AIRSTAGE JVR II」シリーズを発売した。高い省エネ性能と施工の自由度を高めた業務用空調機システム。年産1000台を予定。(8面)

3月6日(木)

中国の新車販売、2月大幅増  
日系5社 / 前年の反動  
日系自動車メーカー5社の2月の中国

日系自動車メーカーの2月中国新車販売	
日 産	71,900 (55.6)
ト ヨ タ	51,900 (43.1)
ホ ン ダ	40,858 (27.6)
マ ツ ダ	9,849 (▼5.6)
富 士 重	3,197 (43.2)
* 単位台、カッコ内は前年同月比増減率%、▼はマイナス	

での新車販売台数は、マツダを除く4社が前年同月実績を上回った。昨年は日中関係悪化で影響が残っていたため、前年を大きく上回った。(5面)

3月7日(金)

旭硝子、上海に技術センター

化学品 / 地域に密着

旭硝子は、上海市に化学品事業のテクニカルセンターを開設する。中国での同社化学品の売上高はフッ素系機能化学品を中心にこの数年で倍増、地域に密着した技術サービス体制を強化。(11面)

北京で自動車リサイクル構築

N E D O・豊田通商

N E D Oは、豊田通商と共に、中国の北京市内で高効率の自動車リサイクルシステムを構築した。前処理からフロン

などの有害物処理、車体裁断、廃タイヤの破碎まで一貫して行う。(17面)

3月11日(火)

パワー半導体を自社生産

トーア紡 / 月产能6万個

トーア紡コーポレーションは、電動工具向けパワー半導体を中国で自社生産する。正豊五金塑胶に約1970万円出資し、合弁会社化。専用設備を導入した。月产能5万~6万個。(8面)

3月12日(水)

中国、預金利を自由化

1、2年で実現

中国人民銀行(中央銀行)の周小川総裁は、全人代に合わせて記者会見し、金融制度改革の柱である預金利の自由化について「今後1、2年で実現できるだろう」との見通し。(時事=3面)

3月13日(木)

大型プレス機12台、中国で受注

H & F / 台湾社瀋陽工場

エイチアンドエフは、中国で東風本田汽車と、台湾プレスメーカーの聯恒工業の瀋陽工場向けに大型プレス機を12台受注した。現地は自動車生産が好調でプレス機の需要が旺盛に。(5面)

次回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面の次回は31日(月)に掲載します。

建機、春節明け商戦本格化  
コマツ2.2倍 / 日立建機76%増

中国で建設機械の春節明け商戦が本格化。2月の油圧ショベル(6t以上)はコマツが2.2倍、日立建機は76%増といずれも大幅なプラス。春節の時期が異なり、販売シーズンが早まった。(6面)

堀場、医療機器を中国生産  
現地向け戦略機・炎症マーカー

堀場製作所は、上海工場で医療機器の生産を始めた。中国向け戦略機の血球計数C R P(炎症マーカー)測定装置をノックダウン生産し、急成長する中国市場で安定供給体制を固める。(10面)

ひと

日本のビジネスモデルが通用

「中国でスマートフォン向けゲームが伸びている」と、D C C社長の宝珠山卓志さん。基本プレーは無料だが、アイテム課金型で楽しむユーザーも多い。「中国は市場が大きい。高機能端末も普及してきた」。日本のビジネスモデルが通用する環境が整ってきた。(4日=11面)

# CHINA

3月4日(火)

日産、デザイン拠点分離  
中英米で新体制 / 2ブランド差別化  
日産自動車は、高級ブランド「インフィニティ」と日産ブランドのデザインスタジオを分離する。日英中米の4カ国にデザイン拠点を持つ。別のスペースを確保。内外装を差別化。(6面)

L G化学、中国バッテリー工場  
EV用 / 環境対策でニーズ

韓国・L G化学は、中国でEV用バッテリー工場の建設を検討。中国政府が大気汚染対策に取り組む中、需要が見込まれると判断。GMやアルミニウムでEV用バッテリーを供給している。(時事=6面)

中国でヘルスケア製品  
ジーンテクノ / 現地企業と提携

ジーンテクノサイエンスは、中国でヘルスケア製品事業に乗り出す。商品開発や販売で地元の生薬原料製造販売大手、グローバル・ファーム・ホールディングス・グループと提携に合意。(12面)

荒川化学、中国で粘接着付与剤  
生産2000t / 水系樹脂を開拓  
荒川化学工業は、中国で有機溶剤のト

ルエンやホルムアルデヒドを含まない粘接着付与剤の生産を始める。専用設備を導入する。生産能力は年1000~2000t。水系樹脂市場を開拓する。(13面)

3月5日(水)

弘輝、蘇州に新工場  
ハンダ材料 / 1.5倍

弘輝は、金属接合材料の中国工場を4月に移転・拡張する。蘇州に新工場。ハンダ材料の有鉛・無鉛ソルダーベースの生産能力を既存工場の1.5倍に。日欧米の進出電子機器メーカー向け。(7面)

事業を支援する。(13面)

3月7日(金)

韓国とTPP予備協議

日本から輸出品の関税引き下げ念頭  
政府は、韓国とTPP交渉に関する初めての予備協議を都内で開いた。日本側は鶴岡公二首席交渉官らが対応した。

日本から輸出する自動車など工業品に対する韓国の関税引き下げが念頭に。(2面)

ラオスで投資フォーラム

人件費・電力料金安く / 日商など

日本商工会議所とラオス計画投資省などは、ラオスの首都ビエンチャンで「ラオス経済・投資フォーラム」を開催した。

ラオスは人件費がタイの3分の1、電力料金はタイの半分程度と低い。(3面)

新設計手法、インドネシアに

日産・アルミノ / 14以上の工場に

日産自動車とアルミノは、両社の年間生産台数のうち、新設計手法を適用した生産台数の比率を2020年に7割にする。現在の4工場からインドネシアなど14以上の工場に拡大する。(5面)

王子、ミャンマーに新工場  
段ボール / 6700万m<sup>2</sup>

王子ホールディングスは、ミャンマーに現地法人を設立し、段ボール工場を建設する。年産能力は段ボールシート貼合が4200万平方m、段ボールケース製造が2500万平方m。(11面)

王子女、ミャンマーに新工場  
段ボール / 6700万m<sup>2</sup>

王子ホールディングスは、ミャンマーに現地法人を設立し、段ボール工場を建設する。年産能力は段ボールシート貼合が4200万平方m、段ボールケース製造が2500万平方m。(11面)

YKK設備投資、アジアに64%

ファスター事業 / 新興国開拓

YKKは、2014年度の設備投資額を32%増の897億円とする事業計画。衣類などのファスターは450億円を投じる。このうち64%をアジアに充て、新興国でファスターを拡販する。(12面)

渋滞情報、アジアで拡充  
豊田通商 / GPS活用

豊田通商は、GPSを用いて自動車向に高精度の渋滞情報を配信するサービスを拡充する。タイやインドネシアで展開。新興国では自動車が拡大の一途、慢性的な交通渋滞が社会問題化。(13面)

日韓で第三国市場を開拓  
中国に対抗 / リスクを軽減

日本と韓国の経済交流団体が、日韓連携でミャンマーなど第三国市場を開拓する可能性を模索し始めた。リスクを軽減できるほか、中国に対抗する上で日韓が組む意義は大きい。(3面)

豊田鉄工、タイ新工場

自動車用プレス部品

豊田鉄工は、タイで自動車用プレス部品の生産を2015年に始める。約34億円投資。バンコク東部に工場を建設。ブレーキやクラッチなどのペダルをトヨタ自動車の現地工場に納入。(6面)

タイのセブンに新型POS

NEC / 1万店規模

NECは、タイのセブン・イレブンを運営するCPオールから、現地でPOS端末を受注した。1店舗に2、3台設置してある。約7500店を運営。1万台に拡大する計画がある。(9面)

帝人、セパレーター増産

二次電池向け / 韓国で2系列化

帝人は、リチウムイオン二次電池向けセパレーター「リエルソート」の生産増強する。韓国の生産拠点では電子機器用途向けなどを中心に数量が順調に伸びており、2系列目を検討。(13面)

J Xエネ、インドに販売合弁

潤滑油 / 日系自動車など向け

J Xエネは、インドに販売合弁で潤滑油を供給している。(15面)

3月6日(木)

I H I、低品位炭の乾燥実証

インドネシア石炭火力発電所

I H Iは、インドネシアの石炭火力発電所で低品位炭を独自技術で乾燥させる実証試験に乗り出す。インドネシア国営電力会社ナフアは31万5000t<sup>2</sup>を発電所に乾燥機器を導入する。(1面)

ビジネスジェット関連アジアに

カナダ内外装会社 / シンガポール拠点

北米の航空機関連企業が、アジアで高まるビジネスジェット需要の取り込みに動きいている。カナダ内外装会社・フライヤー・カラーズは、夏にはアジア初の拠点としてシンガポールに進出。(5面)

三菱レイヨン、アジア最適生産

アクリル樹脂原料 / 設備効率化

三菱レイヨンは、アクリル樹脂原料M M Aモノマーの生産コストを削減する。2015年度までにシンガポールと中国拠点で生産効率化。世界の生産拠点の運営を一本化する専門部署を新設。(11面)

東洋製缶、インドネシア新工場

プラキャップ

東洋製缶グループHDは、インドネシアにプラスチックキャップの製造販売会社を4月に設立する。子会社2社と香港企業が出資する。飲料市場が急拡大している現地